

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和04年10月13日

計画の名称	安全・快適な道路環境づくり（防災・安全）												
計画の期間	平成28年度～令和02年度（5年間）								重点配分対象の該当	○			
交付対象	野田市												
計画の目標	野田市の交流拠点となる中心市街地のまちづくりを実現するため、東武野田線（野田市）連続立体交差事業と一体となった駅前広場や駅前線等の市街地整備を推進し、バリアフリー化により、安全、快適な都市基盤整備を進める。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	2,015	A	2,015	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H28当初	H30末	H32末
1	歩道空間を整備することにより、安全、快適に通行できる歩行者人数を0から3,500人に拡大。 歩道等の整備により、安全、快適に通行できるようになる歩行者人数を算出する。 〔整備の延べ延長（m）/整備計画の延べ延長（m）×歩行者数（人/日）〕	0人	人	3500人

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H28	H29	H30	H31	R02			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
道路事業	A01-001	街路	一般	野田市	直接	野田市	区画	改築	野田市駅西地区	区画整理 A=6.0ha	野田市						1,934		未策定
	A01-002	街路	一般	野田市	直接	野田市	区画	改築	野田市駅西地区(駅前広場)	区画整理 A=6.0ha	野田市						81		未策定
											小計						2,015		
											合計						2,015		

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
野田市担当部局にて評価を実施する。	令和4年度
	公表の方法
	野田市ホームページにて公表
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	野田市駅西地区では、駅周辺の工場や倉庫、宅地等を除去し、更地にしたうえで都市計画道路の築造を進めている。 現在、都市計画道路野田市駅前線の一部が供用開始され、駅を利用する歩行者等が快適に通行できる環境が整いつつある。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	野田市駅西地区では、地区内の工事及び移転補償が進み、市民のニーズを踏まえつつ、賑わい創出に向けて駅前を中心としたエリアで将来のまちづくり構想が具体化してきている。
特記事項（今後の方針等）	
野田市駅西地区では、引き続き工事及び移転補償の進捗を図り、駅前広場や都市計画道路を含む都市基盤を、早期に供用開始できるよう努める。	

